



friendship force

WESTERN TOKYO

No. 9 2009, January



ストクトン オン ティーズ 市庁舎にて (クリーブランド,UK 渡航—山口クラブと合同)2008年6月

2009 年予定

日本大会

2月28日(土) 12時~20時30分 代々木 オリンピック青少年総合センター

総 会

1月24日(土) 11時30分~14時30分
ホテル・ザ・エルシー 龍皇
問合せ先 高垣 幸子 042-796-6797

フェスティバル

Asia Pacific Festival, Wine and Roses
6月4日(木)~8日(月)
オレゴン州、アメリカ
問合せ先 石井 嗣代 044-852-5231

世界大会

11月19日(木)~22日(日)
那覇、沖縄
問合せ先 石井 嗣代 044-852-5231

受け入れ

世界大会前後の予定

関東ブロック会議

西東京クラブ主催
11月予定

ブラチスラバ受け入れ(10月6日～12日)

加藤 幸子

ブラチスラバ、今回 西東京が受け入れる国、スロバキアの国の首都名です。

今年入会したばかり、更に語学に自信も無い私の前にアンバサダーの一覧表が配られました。

『お願いできます?』の一言に、『はいっ!』と迷う間もなく OK してしまいました。じいっと一覧表を見ていると smoking (female) に目が止まりました。20名中唯一の smoking。私の主人も吸うし。次の瞬間『smoking の方をお願いします。』と.....これがマーチンご夫妻との“出会い”でした。

ミーティングが終わって外に出た私に、石井夫人から『マーチンはブラチスラバの会長で私はお目にかかっているのよ。大きな方、良い人よ。ハンマー投げか何かの選手と聞いていますけど。』私の不安を和らげるかのように背後から声をかけて下さいました。

大きな方? 外人の大きい方といったら半端じゃないだろうな? あのベッドで大丈夫だろうか? 畳のほうがいいかしら? 家のバスタブで間に合うだろうか? 不安が脳裏をかすめる。おまけに大きな犬を家の中で飼っているし.....

10月に入り、あと2日後に迫ったころなどは、かなり緊張しまくり状態。無事送り出せた1週間後の開放感を何度想像したことでしょう。

当日、10月7日(マーチンご夫妻は世界大会出席のため、他のアンバサダーより1日遅れて来日)、榎川会長が成田までお迎えに行かれ、多摩プラーザの駅前で私に引き合わせて下さいました。

人の良さそうな、本当に大きな方! ご夫妻共々、車に乗り込んだ瞬間ズッシンと車が沈んだのを覚えています。1時間後4人でWelcome Party会場に向か初めてお引き受けしたホストファミリー。ディホストやディナーホスト、これには随分助けられました。マーチンご夫妻のお人柄やクラブの皆様のヘルプにより、最初抱いていた不安もスーッと消えていきました。



箱根 芦ノ湖 海賊船

最後の夜は、長男夫婦とその友達夫妻も加わり、計8人でスキヤキパーティを楽しみました。ビールにワイン、泡盛など、呑むほどに舌が滑らか(?)になり、スポーツ、特にサッカーの話しの時などは最高に盛り上がり、最後は肩を組み合せて記念写真に納まったほです



別れは何時も寂しいものです。新横浜に主人と2人で見送りに行きました。それぞれ東京での思い出を胸に秘めたアンバサダーがにこやかに手を振って、次の地 静岡に向かうため新幹線の中に消えていきました。

無事見送れた私達もほっと胸を撫で下ろし、満足感がこみ上げてきました。

家に帰り6日間使っていた部屋に足を踏み込むと、ガラとした空気を感じました。

その時ふっと部屋を見渡すと、私の目に止まったもの、それは、マーチン夫妻がみえる前日、一枚の小さなカードに『Welcome to my Home』と書いてベッドサイドに置いておいたものです。ようーく見ると裏側にマーチンの字で『Thanks for Great Hospitality』と書かれてありました。

その一言に、熱い何かが、私の胸の中をすーっと流れていきました。それと同時に、なんとも言えない、まるでその日の秋風のような“爽やかさ”を感じました。

2008年世界大会に参加して(10月2日～5日)

石井 嗣代

今年はオーストラリアのゴールドコーストで、10月2日から5日まで開催されました。白い砂の美しいビーチが延々と広がるサーフィンやヨットの盛んな常夏の町です。

成田から8時間、ブリスベンからバスに揺られて約1時間で着きました。日本とは時差がないので、その分日本の21名の参加者にはお楽だったことでしょう。

全体の参加者は世界16カ国より約320名でした。なんと言ってもオーストラリアの人が多く150名です。次はニュージーランドからの参加者もたくさん見かけました。

世界の色々なところで開催することは、近くの国が

らの参加者が増えて良いことだなと実感しました。

今回の大きなテーマは、より若い人々の参加を呼びかける、新しいロゴとタグライン、キャッチフレーズの紹介でした。ワークショップは常時 2 つぐらいの規模の大きなものが用意され、新しいロゴや戦略に関するもの、ゴールドコーストの紹介、インターネットの活用法についてなどでした。

オジーたちの和やかな笑顔とお世話で、会場のマリOTTホテルはいつもあたたかい雰囲気にもまれて、行事は滞りなく進行しました。金曜日の晩はそれぞれグループになってめいめいでの夕食でしたが夜 8 時半からホテルにあるテラスで、コーラスのタベをやるから集まってくださいと言うお触れがあり、行って見たら 200 名以上が集まって、それぞれの国の歌を歌っていました。オーストラリアサイドから小さな歌の本も準備されて渡され、間にはこれもくまなく歌ったように思います。



5 日の最後の日には、受賞者の発表と、次大会の発表があります。愛知クラブは 2007 年 4 月の AP フェスティバルの成功を評価されて優秀クラブということで受賞していました。最後に日本の参加者 21 名は全員壇上上がり、沖縄をビデオで紹介したあと、どうぞ来年 11 月 19 日には皆さんいらしてくださいとお話して閉会とでした。

来年はいよいよ日本での開催です。日本らしさのある、良い大会になることを願っています。

クリーブランド、UK 渡航 (6月7日~13日) 虫明 陽子

天候に恵まれた訪問でした。「傘をステッキの如く常時携帯する紳士」がイメージ(旧い?)の雨の国・滞在先は北海に面した東北部・直前の天気情報・・・等々から初冬の寒さを覚悟して赴きました。が、寧ろ日焼けが心配な暑さの快晴続きでした。顔を合わす度の挨拶が「我々の日頃の行いが良い証拠」であったのも仕方ない程珍しい陽気だったようです。

二度のバス旅行を含め、毎日色々な観光をさせ頂きました。満潮時に分断孤立する HOLY ISLAND など、普通のツアーではまず行く機会の少ない名所旧跡を案内して頂けた事は、FF ならではの経験と感動しました。



四日目に市庁舎を表敬訪問。当地は、産業革命の地で、スティーブンソンの蒸気機関車が初めて石炭と人を乗せ走行したとの事。港町でもあり、鉄道敷設と共に一層栄えたようです。その歴史をモチーフにした「純金の首飾り」を市長は着用し、私達を美味しい昼食で温かくもてなして下さいました。



私にとってホームステイは初めての経験でした。大いなる期待感と一抹の不安を胸に参加いたしました。ですが、私のホストとあちらの ED(佐原 ED のホスト)が親友同志ということで、この二組が毎回行動を共にして下さいました。佐原さん、感謝しております。とても心強かったです。お陰様で、アンバサダーとホスト双方の心遣いを見せて頂け幸せでした。

印象的だったのは、皆様がとても自然体であった事です。気付くと、仲良しホスト二人の中にすっかり嵌り込んでおりました。(タイプは正反対ながら、色違いの日産マーチに乗り、愛犬も白と黒のテリア・・・というお二人でした)

国際交流を云々するにはまだまだ未熟ですが、根っこの部分が少し分かったような気がしております。

ザ・フレンドシップフォース・ジャパン 第22回日本大会

FFの輪 より広く より新しく より深く

西東京クラブ 会長
 椰川 善一

2008年は1月にアクティブな会員のほとんどが参加する準備委員会を立ち上げ、6月の英国東北部への渡航、10月のスロバキアからの受入れなど恒例の交換事業を順調に進めながら、初めて主催する日本大会の計画を練ってきました。既に各クラブから160名を超す参加申込を頂き、近年になく盛大な大会となりますのも会員各位のご努力の賜です。

折しもFFI本部はこの夏から「FFブランド改革計画」をスタート、それに基づき新しい企画や交換システムが続々誕生しつつあります。また大会会場に、東京オリンピックの選手村だった記念の青少年総合センターを選んだことになみ、日本大会のスローガンを五輪讃歌にならって「FFの輪 より広く より新しく より深く」と決めました。

各クラブにお願いしたアンケートの集計も完了、その分析を中心としたユニークな会議の数々と楽しいワークショップやパーティを立案中で、いよいよ私たちの準備もホームストレッチに入ります。来る2月28日には会員全員とその家族・友人、助っ人ボランティアのご協力により、小さなクラブによる大きな日本大会を、このスローガンに沿った成功に導けますよう、西東京会員の皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

日時 2009年2月28日(土) 12時～20時30分

会場 代々木、オリンピック青少年総合センター 国際交流棟 Tel:03-3469-2525

小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分

メトロ千代田線 代々木公園駅下車 徒歩約10分(代々木公園方面出口)

京王バス 新宿駅西口(16番)より (代々木5丁目下車)

渋谷駅西口(14番)より (代々木5丁目下車)

プログラム

12:00～12:50	受付	国際会議場前(国際交流棟2F)
13:00～15:00	全体会議	国際会議場
15:00～15:30	休憩	飲み物サービス(国際会議場前)、会場への移動 宿泊者に鍵渡し
15:30～16:30	代表者会議	第2ミーティングルーム
	ワークショップ1	歌唱指導 音楽演劇室/小練習室(カルチャー棟)
	ワークショップ2	新規会員の確保 国際会議場
	ワークショップ3	受け入れ歓迎パーティ余興 第1ミーティングルーム
16:30～17:30	移動	
17:30～18:00	写真撮影	レセプションホール
18:00～20:30	懇親会	レセプションホール

2009年度会費納入のお願い

本会の活動は会員の皆様の温かいご支援によって運営されています。本年も更なる会の発展と活動のために、ご協力をいただかなければなりません。同封の「郵便振込用紙」により年会費3,000円の納入を2月末日までにお願ひいたします。(会則第6条)

編集発行:ザ・フレンドシップフォース・西東京

発行責任者:東京都世田谷区上馬 2-37-12-701

椰川 善一

Tel & Fax : 03-3419-3018

e-mail : w-tokyo@friendshipforce.jp